

## 日本発トスカーナ便り：人との距離

最近イタリアに進出する(?)ようになって、現地の人達と接していくうちに、次々と明らかになる文化・習慣の違い！小さなものから大きなものまで、日本と違うのはもちろんの事ですが、同じ西ヨーロッパに位置するドイツや隣国オーストリアと違って違うこともたくさん。

驚くことや戸惑うことも多いのですが、多分一番のカルチャーショックだったのが「人との距離」です。

「人との距離」を言葉で説明するのは難しいのですが、我ながら「お？これ分かりやすい？」と思う例を思いつきました。☺

知り合いに出会ったときや、誰か友達のお家を訪問した時なんかを思い浮かべてみてください。

- ・日本人なら？お互いお辞儀（身体の接触なし）。
- ・ドイツ人なら？握手、親しい相手なら軽くハグ。（かなり近づきました）。

そして

- ・イタリア人は？軽くハグして両頬に互いにキス。（大接近）

身体的な距離にどれだけの違いがあるか分かるでしょうか？

この両頬にキスって、言葉でさらっと書きましたが、慣れていないと結構難しいです。自分の頬に相手のキスを感じつつ、自分も相手の頬にキスして、反対側も同じく。ということになるのですが、慣れてないと同時進行が結構難しいです。私はずっと見よう見まねでやっていたのですが、実はやり方が間違っていたというか、正しく理解していなかったようで…。ある日指摘されるまで正しい挨拶できていませんでした。（要はキスを受ければ良い。と思い込んでいたのです。でも実際はお互いが相手のキスを感じないと挨拶が成立しない！のです。）

この挨拶、イタリアでは両頬に、そしてスイスのイタリア語圏では両頬+1回の合計3回なんだそうです。左右どちらから？という決まりはなさそうです。

あいさつだけでもこんな感じですが、「人間関係」に関しても密度が濃いのがイタリア人。

日本だと、都会ではマンションの隣に住んでいる人も顔知らない、なんて珍しい話ではなくなってきていますが、イタリアじゃそうは行きません。

親戚付き合いにご近所付き合いはもちろんのこと、学校の友達や職場の同僚の家族一同みんな知り合いだったりします。自分のだけじゃなくて、自分のお父さんの会社の同僚とかでも知っています。しかも日本だったら「〇〇ちゃんのお母さん」、「〇〇さん家のおじいさん」ってな感じでフルネームまでは知らなかったりしますが、そこはしっかりお名前まで知っています。

これは真偽不明の例え話ではありますが、イタリアで人口1000人規模の村があったら、住民全員がお互いの事を知っている。だそうです。これぞまさに「友達の友達は友達」的な発想ですかね？

しかも付き合いは「名前と顔は知っている」程度の表面的なものではなく、もっと距離が近いです。

家族構成はもちろん、誕生日など、プライベートなことまで知っていたりします。ちょっと「ええ？なんでそんなことまで！」と思うこともありますが、悪い意味ではなくて、お互いオープンな付き合いというか、近所の人に塩借りに行くとか、旅行中に植物の水やり頼むとか、誰かの代わりに駅まで車で迎えに行くとか、日常的にお互い助け合って暮らしているイメージです。困ったことや悩みがあれば、まずは何とか自分で解決しようとする日本人とは対照的で、ワーッと皆にばらまいて、あーだこーだと賑やかに、なんかよく分からんけど解決するというか、なんだかそんな感じです。

この密度の濃い人間関係、地理的に南下するほどに、より濃くなるそうですよ。

ちなみにイタリアで「南」と言えば、一般的にはローマより南を指すようです。あんまり関係ないですが、

